



$\angle BAC = \theta$ ,  $CA = x$  とおく。

面積が  $\sqrt{3}$  であるから、

$$\frac{1}{2} \times 2 \times x \times \sin \theta = \sqrt{3}$$

これを解いて、

$$x = \frac{\sqrt{3}}{\sin \theta}$$

余弦定理を用いて、

$$\begin{aligned} BC^2 &= 2^2 + x^2 - 2 \times 2 \times x \times \cos \theta \\ &= \frac{3}{\sin^2 \theta} - 4\sqrt{3} \frac{\cos \theta}{\sin \theta} + 4 \end{aligned}$$

よって、

$$\begin{aligned} BC^2 + CA^2 &= \left( \frac{3}{\sin^2 \theta} - 4\sqrt{3} \frac{\cos \theta}{\sin \theta} + 4 \right) + \frac{3}{\sin^2 \theta} \\ &= \frac{6}{\sin^2 \theta} - 4\sqrt{3} \frac{\cos \theta}{\sin \theta} + 4 \end{aligned}$$

ここで、 $\frac{1}{\sin^2 \theta} = 1 + \frac{\cos^2 \theta}{\sin^2 \theta}$  であるから、 $\frac{\cos \theta}{\sin \theta} = t$  とおくと、

$$\begin{aligned} BC^2 + CA^2 &= 6t^2 - 4\sqrt{3}t + 10 \\ &= 6 \left( t - \frac{1}{\sqrt{3}} \right)^2 + 8 \dots\dots\dots \textcircled{1} \end{aligned}$$

(1)  $0^\circ < \theta < 90^\circ$  のとき

$t > 0$  であり、 $BC^2 + CA^2$  は  $t = \frac{1}{\sqrt{3}}$  のときに最小となり、そのときの値は 8 である。

このとき、 $\frac{\sin \theta}{\cos \theta} = \sqrt{3}$  となり、 $\theta = 60^\circ$  である。

(2)  $90^\circ \leq \theta < 180^\circ$  のとき

$t \leq 0$  であり、このとき①は  $t$  の減少関数となるから、 $BC^2 + CA^2$  は  $t = 0$  のとき、つまり  $\theta = 90^\circ$  のとき最小となり、その値は 10 である。

(1), (2) より、求める  $\angle BAC$  の大きさは  $60^\circ$  である。